

令和5年度 T P P(高松プライドプロジェクト) を 開催しました

8月22日(火)に、高松市総合教育センターを会場に、高松市立小学校23校から、計41名の代表児童が集まり、開催いたしました。

T P P(高松プライドプロジェクト)は、小学校の代表児童が、自分の学校や地域、高松市のよさを発表し、それらをよりよくするための具体的な取組についての情報交換を行うもので、地域や郷土への関心を高め、子どもたちのシビックプライドを育むことを目的にしており、今年度は、『「高松のよさをみつけ、高松の未来のために自分たちに何ができるかを考えよう」～自分の地域のよさを伝え合い、高松のよさを再確認し、発信しよう～』を全体テーマとしました。

当日は、最初に多目的洋室にて、教育長のあいさつがあり、その後、児童は5つのグループに分かれ、準備した成果物や写真などを使って、自分の地域のよさや魅力を、それぞれの「まちの観光大使」となって発表し合い、テーマに沿って、これから大切にしていきたいこと、自分たちに何ができるかについて、熱心に議論しました。その後、各グループからのメッセージとして「PR動画」を完成させました。そして、再び、多目的洋室に集まり、全体会で、各グループが完成させたPR動画を、参加者全員で見ました。全体会では、それぞれの「PR動画」に対して、会場にいたたくさんの参加者から拍手が送られ、温かな雰囲気でも包まれました。

参加児童から、「各校の発表を聞いて、故郷は大切に、どこも素敵だなと思った。」
「他の学校のみんなは、地域の方々に感謝を伝えていたりして、人を大切にしているということが分かり、すごいなと思った。自分たちはまだまだだから、もっと取り組みたい」などの感想が寄せられ、参加児童は、それぞれの地域のよさや魅力を再確認するとともに、他校の児童と話し合うことで、視野が広がり、良い刺激を受けることができたようです。

「PR動画」は、市内全小・中学校及び高松第一高等学校に対して発信し、各校の取組の参考にしてもらうとともに、「PR動画」をたくさんの人に見てもらいたいという参加児童の思いも受け、高松ムービーチャンネル等への掲載を予定しています。



グループ内の発表



協力してPR動画を
作成



全体会でPR動画を
視聴